

月灯りの移動劇場(美術)

舞台を見つめる

～言葉と身体と音が織りなすドラマ～

日時:2023年1月21日(土)～2月19日(日) 11:00～19:00 会期中、金・土・日のみオープン

会場:アトラボあいち3階



舞台を 見つめる

～言葉と身体と音が
織りなすドラマ～

名古屋芸術大学は、2021年4月に舞台芸術領域を開設いたしました。コロナ禍で舞台芸術のあり方を問われる時間は、舞台芸術のあり方を再考する時間とも言えます。

文化芸術は人間の営為そのものと言えます。人間は、時の流れの中で、観る側や聴く側と伝える側の境界をつくりましたが、今、自らの手でその境界を飛び越えようとしています。そのスピードはコロナ禍で加速したような気がします。

また、境界を飛び越える中で、劇場空間に存在すると思込んでいた「舞台」がストリートやオンラインなど生活空間にも存在していることに気づきました。時間や空間のフレームのルールは、存在しないかもしれません。

そのような現代社会において、私たち舞台芸術領域は、「舞台」を「立ち止まって考える時間と場所」と捉え、立ち止まって考える誰かの背中をそっと押せる作品づくりが必要だと気がきました。

今回の展示では、舞台芸術領域教員でもある鳴海康平と浅井信好がそれぞれ牽引するカンパニー、「第七劇場」と「月灯りの移動劇場」の舞台美術を立ち止まって見つめていただけましたら幸いです。

2023年

1月21日(土) 名古屋芸術大学舞台芸術領域の紹介 スピーカー：舞台芸術領域主任 梶田美香

舞台芸術領域が開設してからの2年間の歩みとこれからの展開について紹介します。

11:30開始(11:00受付開始) 定員:20名 参加費:無料

参加は事前申し込みとなります。こちらのQRコードからお申し込みください。定員に達し次第、締め切らせていただきます。



舞台芸術のプロフェッショナルによる連続講座 (各90分)

1月29日(日) 連続講座Ⅰ「知られざるオペラの裏側」

講師:丹羽康雄 愛知県芸術劇場元館長・日生劇場元プロデューサー

2月5日(日) 連続講座Ⅱ「効果音の作り方、使い方」

講師:市来邦比古 舞台音響家・世田谷パブリックシアター元技術部長

2月11日(土・祝) 連続講座Ⅲ「舞台美術ができるまで」

講師:金井勇一郎 舞台美術家・金井大道具株式会社取締役社長

いずれも14:00開講(13:30受付開始) 定員:連続講座Ⅰ 20名、連続講座ⅡⅢ 6名 受講料:無料

参加は事前申し込みとなります。こちらのQRコードからお申し込みください。定員に達し次第、締め切らせていただきます。



丹羽康雄



市来邦比古



金井勇一郎

トークショー

2月12日(日)「舞台芸術のこれまでとこれから 一見つめ考える場として」

出演:梶田美香、鳴海康平、浅井信好

なぜ、人間は表現するのか、なぜ人間は観て聴くのか。

舞台芸術領域の教員でもある3名が舞台芸術や劇場の役割を、音楽、演劇、舞踊、

或いは研究者、演出家、振付家、或いは演奏者、プロデューサー、ダンサーの多様な立場から語り合います。

14:00開講(13:30受付開始) 定員:20名 入場無料

参加は事前申し込みとなります。こちらのQRコードからお申し込みください。

定員に達し次第、締め切らせていただきます。



梶田美香



鳴海康平



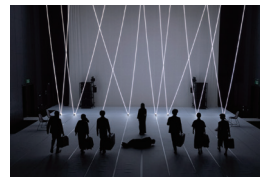
浅井信好

Special Performance

2月18日(土) 第七劇場 モノドラマ「声」

第七劇場

1999年、演出家・鳴海康平を中心に設立。主に既成戯曲を上演し、言葉の物語のみに頼らず舞台美術や俳優の身体とともに多層的に作用する空間的なドラマが評価される。国内外のフェスティバルなどに招待され、これまで国内25都市、海外5ヶ国11都市(フランス・ドイツ・ポーランド・韓国・台湾)で作品を上演。代表・鳴海がポーラ美術振興財団在外研修員(フランス・2012年)として1年間滞仏後、2013年に日仏協働作品『三人姉妹』を新国立劇場にて上演。2014年、東京から三重県津市美里町に拠点を移設し、倉庫を改装した新劇場 Théâtre de Bellevilleのレジデントカンパニーとなる。https://dainanagekijo.org



核の嵐(2021) ©松原豊

2月19日(日) 月灯りの移動劇場

「Silence」より一部抜粋 シーン:幼体・農耕儀礼

いずれも14:00開演(13:30受付開始) 定員:15名

入場無料

参加は事前申し込みとなります。

こちらのQRコードからお申し込みください。

定員に達し次第、締め切らせていただきます。



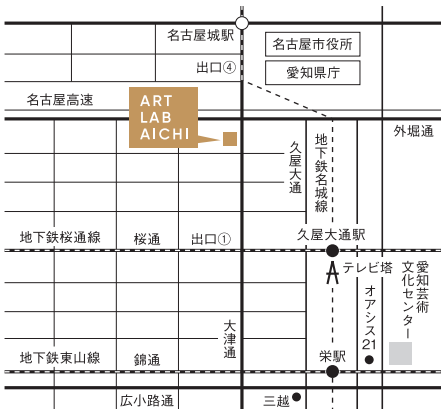
月灯りの移動劇場

2015年に名古屋で創設したダンスカンパニー。「モノづくり+舞台芸術」をテーマに、オリジナルの移動劇場を数多く製作し作品を発表。2017年には、グッドデザイン賞を受賞。2020年に製作・発表したソーシャルディスタンス円形劇場《Peeping Garden》はコロナ禍における新たな鑑賞形式として注目を集め、ロイター、NHK、HUFFPOST、Domus、朝日新聞など世界35ヶ国以上のメディアで取り上げられた。全国10都市で上演。



月灯りの移動劇場(美術)

主催:名古屋芸術大学、国際芸術祭「あいち」組織委員会 助成:一般財団法人地域創造
お問い合わせ:butaigeijutsu@nua.ac.jp



ART LAB AICHI

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目4-13 愛知県庁大津橋分室2階・3階

Tel&Fax:052-961-6633 E-mail: ala@aichitriennale.jp https://aichitriennale.jp/ala/

開館日:金曜日・日曜日・祝日 時間:11:00-19:00

[交通案内]・地下鉄名城線「名古屋城」4番出口から徒歩5分

・地下鉄桜通線「名城線」1番出口から徒歩8分

運営:国際芸術祭「あいち」組織委員会

